



この度、平成二十七年は日露戦争戦勝百年・大東亜戦争終結七十年の節目の年となりました。今日の我が国の礎となられた尊き御英霊に慎んで哀悼の意を捧げると共にその御顕彰の為に、啓発冊子「大和の国より英霊の声を」と靖國神社・護國神社参拝啓発うちわの作成をし、奈良県護國神社・近鉄奈良駅行基像前広場にて配布・啓発活動を行いましたところ、多くの人に好意的に受け取っていただくことができました。しかし、終戦から七十年が過ぎ、人口の約八割が戦後生まれであり、戦時中の記憶がある方とかなり少なくな

ります。さて、平成二十七年は日露戦争戦勝百年・大東亜戦争終結七十年の節目の年となりました。今日の我が国の礎となられた尊き御英霊に慎んで哀悼の意を捧げると共にその御顕彰の為に、啓発冊子「大和の国より英霊の声を」と靖國神社・護國神社参拝啓発うちわの作成をし、奈良県護國神社・近鉄奈良駅行基像前広場にて配布・啓発活動を行いましたところ、多くの人に好意的に受け取っていただくことができました。しかし、終戦から七十年が過ぎ、人口の約八割が戦後生まれであり、戦時中の記憶がある方とかなり少なくな



会長 挨拶
談山神社権禰宜 花房兼輔

青 垣

第 52 号

編集者 広報 部

発行所 奈良県神道青年会
電話〇七四四二三四七三

奈良県橿原市久米町九三四
奈良県神社庁内

平成二十八年一月一日発行



祝祭日には
国旗を
揚げましょう

心は即ち神明の舎、
形は天地と同根たり。

吉田兼俱『神道大意』

くくなります。当時の記憶や情報が人々に偏ることなく正しく伝わっているのでしょうか。ある世論調査では、大東亜戦争が始まった日を知っている二十代・三十代は約一割と大変低く、五十代・六十代であつても三割弱であるという調査結果でした。この世論調査がどれ程正確かはわかりませんが、七十年に渡り多くの日本人が教え込まれてきた歪んだ歴史観の呪縛は大変根深く、私達も知らず知らず引つ張られているように感じることも少なからずあります。九月には「我が国及び国際社会の平和及び安全の確保に資するための自衛隊法等の一部を改正する法律」（平和安全法制整備法）と「国際平和共同対処事態に際して我が国が実施する諸外国の軍隊等に対する協力支援活動等に関する法案」（国際平和支援法）成立しましたが、その成立までの騒ぎは異様なものでした。日本を取り巻く環境やこれまでの歴史、肇国の理念等を知らない人々が悪意ある言論に流されていたのではないのでしょうか。法案が成立するとメディアに取り上げられることも無くなり、あの騒ぎは何だったのかと思いますが、私達にもより良い日本の為に学ばなければならぬ事、知らなければならぬ事が多くあります。その知識を共有し次世代に伝え、実践出来る会を築けるよう努力してまいります所存でございます。何卒、皆様方には一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。

会長退任によせて

大神神社権禰宜 大月 智



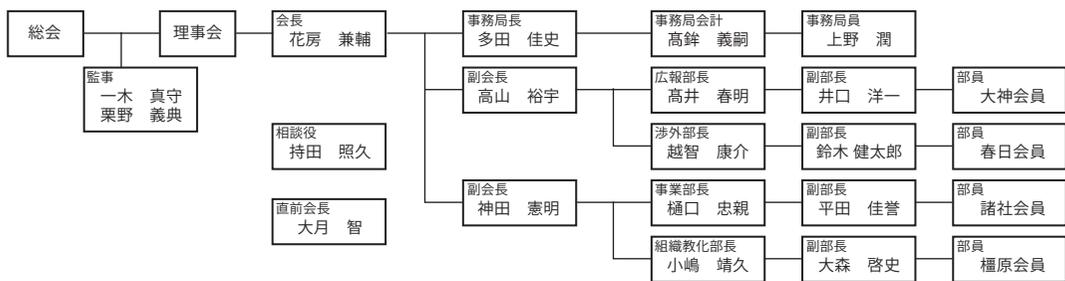
会長の任は解かれましたが、幸いにして四十歳のため退任後も会員資格を有することも、退任しても社内の後輩の動静から会務状況を把握してしまうことも、更には五十周年記念誌の校正を刊行直前まで行っていたことも、そして当然ながら繰り延べにしていた社務もあり、瞬きほどの寂しさすら感じることなく一年が過ぎようとしています。

会長在籍時というより神青理事に就任してからは、とにかく夢中で活動に動しんでいたように思えます。では卒業して何が残ったのか。多くの得難い経験と、かけがえのない同輩・戦友に巡り合うことができました。改めて厚く御礼申し上げます。会長としては、四十周年時の平岡会長から持田会長まで奈良県出身の会長で繋がられてきた奈良県神道青年会会長の職へ、殊に五十周年の節目に私のような外様が就いて良いものかと、自問自答しながらの船出を覚えていきます。会長在籍時の二年間の長かったこと。濃密な時間を過ごさせて頂きました。会長は看板かもしれぬが主役ではない、理事をはじめ会員全員が主役でなくてはならないと思いますが、まさに会員の皆さまの力の結集で完結することのできた五十周年であったと思っております。

いま後輩の皆さんに伝えること、偉そうなことは申し上げられませんが、何事にも臆せず進んで頂きたいと思えます。在籍中には国難と云うべき東日本大震災が又紀伊半島大水害が発生し、これには日本人としての可能性と神職としての無力さとを同時に味わい、それでも時は流れ否応にも前を向いて歩み続けねばならない現実。青年神職の皆さまには、我々の「稽古照今」を胸に、前を向いて確実なる一歩を踏み出して欲しいと願います。

今しかできない経験を。悔いを残さぬ生き方を。

平成27・28年度 奈良県神道青年会 組織図



出向理事

【神道青年全国協議会】 監事：持田照久 代議員：花房兼輔・神田憲明 時局対策員：花房兼輔	【神道青年近畿地区連絡協議会】 理事：花房兼輔・高山裕宇 相談役：持田照久 事業委員：栗野義典・樋口忠親	【皇居勤労奉仕推進委員会】 委員長：尾田交之 事務局：白沢宏臣 委員：野上裕司・坂口智紀	【かたりべまほろぼ】 団長：神田憲明 事務局長：小嶋靖久 事務局員：大森啓史
【神宮大麻頒布推進委員】 委員：神田憲明・大森啓史			

分掌 会則施行細則第4条による会務の分掌事項		行事予定
事業部 渉外部 組織教化部 広報部	企画・研修・社会奉仕・親睦に関する事項 神青協・近畿神青・友好団体との連繋協賛活動に関する事項 青少年団体教化・賛助会員に関する事項 機関紙並印刷物発行・街頭活動・対外的な広報に関する事項	親睦ゴルフ(11月) 親睦スポーツ大会(年1回) 勉強会企画(年4回目安) 神宮・京都・奈良三神青野球(5月) 近畿野球(5月) 南都聖和会(11月) 神話紙芝居団かたりべまほろぼ(随時) 会報青垣作成(原稿写真依頼) 神宮神徳宣揚活動(12月)

平成二十七年 定例総会

去る平成二十七年四月二十七日、奈良県神社庁に於いて、平成二十七年定例総会が奈良県神社庁副庁長樋口俊夫様ご臨席のもと、会員二十一名の出席で開催された。

平成二十六年年度の活動報告と決算報告、創立五十周年記念事業経過報告、役員改選の件、平成二十七年年度の活動計画と予算案が承認され、花房兼輔会長の任期がスタートした。

総会後、檀原ロイヤルホテルにて懇親会が開催された。総会に引き続き樋口副庁長にご臨席戴き、懇親会から参加の十名も加わり、大いに盛り上がり、互いに親睦を深めた。

総会で承認された新理事役員と組織図は下記の通り。

(事務局 多田)



奈良県神道青年会 検索



奈良県神道青年会 理事役員

役職	氏名	奉務神社
会長	花房 兼輔	談山神社
副会長	高山 裕宇	大神神社
副会長	神田 憲明	御霊神社
事務局長	多田 佳史	檀原神宮
会計	高鋒 義嗣	檀原神宮
理事	越智 康介	春日大社
理事	鈴木健太郎	春日大社
理事	平田 佳誉	薬園八幡神社
理事	大森 啓史	往馬坐伊古麻都比古神社
理事	小嶋 靖久	石上神宮
理事	高井 春明	大神神社
理事	井口 洋一	大神神社
理事	上野 潤	檀原神宮
理事	樋口 忠親	廣瀬神社
監事	一木 真守	春日大社
監事	栗野 義典	八咫鳥神社
直前会長	大月 智	大神神社
相談役	持田 照久	葛木坐火雷神社

大東亜戦争終結七十年 英霊顕彰事業実施

平成二十七年は大東亜戦争が終結してより七十年の節目の年であることから、先の大戦において戦場に散華され祖国再建の礎となられた英霊顕彰実施しました。事業の内容は靖国神社及 地元奈良県護国神社への参拝勸奨を中心としたもので、会員一同力を合わせ次の内容の活動を行いました。

①英霊顕彰冊子「大和の国より英霊の声を」製作

戦後七十年を経て、実際に戦陣に赴かれた戦友の方々を始め戦争を知る世代の方々が年々鬼籍に入られ更にご遺族の高齢化も進む中、如何にして戦争を知らない次世代に戦争の記憶と英霊の想いを後世に継承していくかが課題となっている今日、当会では我々と同じく奈良県出身者で故郷を離れ遠く戦地へ出征され散華された方々の遺書・手記を纏めた冊子を製作し終戦の日にあたる八月十五日に発刊致しました。

冊子は手に取りやすいB5版カラー8頁刷り



で製作。若者を中心に日頃、読む機会の少ない「英霊乃言乃葉」を読みやすくルビを入れた体裁で編集、読まれた方それぞれが「先の大戦について」「英霊への思いと感謝」「平和と国防」などについて考えそして思いを寄せていただきたいとの趣旨で発刊しました。巻末には我が国の戦歿英霊の慰霊顕彰の中心である靖国神社と地元奈良県護国神社の御由緒を紹介し、多くの方々に両神社を知って頂き正しい理解のもと参拝を勧奨する内容となっております。

当会では八月十五日午前、奈良県護国神社にて齋行された県出身戦没者慰霊祭の参列者約四〇〇名を始め同日午後及び十六日には多くの通行人観光客で賑わう近鉄奈良駅前で約三〇〇〇名に対して同冊子並靖国神社護国神社参拝勸奨を記した特製の団扇を製作し配布活動を実施しました。冊子を受け取られた方よりは「英霊の遺書を初めて読ませて頂いた。英霊に感謝し平和について考えたい」「護国神社に参拝してみたいと思う」などの感想が寄せられました。ま

たこの冊子は十月二十六日の奈良県神社関係者大会での出席者への配布を始め、県内各支部神社にも贈呈し各神社御社頭でも頒布され好評を頂きました。

尚、英霊顕彰冊子「大和の国より英霊の声を」は当会ホームページ <http://www.narashinsei.com/> のブログよりダウンロードできます。是非ともご覧下さい。



②奈良県護国神社における奉仕活動

当会では平成六年の創立三十周年・奈良県護国神社御創建五十年を記念し本殿脇に神社に縁の椿を植樹。以来、春秋の大祭における祭典奉仕を仰せつかっております。終戦七十一年の節目となるこの年も春季秋季大祭での助勤奉仕(典儀)を始め八月十五日には護国神社で齋行の英霊に心える会奈良県本部主催による県出身戦没者慰霊祭の祭員奉仕をさせて



いただきました。祭典には神道青年全国協議会より伝達の玉串料を奉奠申し上げ花房会長と持田相談役が参列致しました。大変暑い中での祭典奉仕でありましたが、本殿前齋庭には沢山の御遺族崇敬者をご参列され、当会会員も共に英霊に感謝の誠を捧げさせていただくことができました。当日の直会では水団料理が振る舞われ皆様と共に戦時を偲ばせていただきました。翌十六日には護国神社境内に於いて地元自治体による東市高円の杜夏祭りが開催され、当会運営の「神話紙芝居団かたりべまほろば」の公演を実施、今回の演題は「やまたのおろち」で、心地よい夕風が神域に流れる中、近隣の小学生を中心に沢山の子供達が近年語られる機会の少ない神話の世界を堪能し楽しんでおりました。また、本年は終戦七十年にあたり天皇陛下に

は特別の思し召しをもって全国の護国神社に幣帛料を御供えの旨仰せ出されており、十月二十二日の秋季大祭は併せて臨時奉幣祭として御齋行となり、奈良県神社庁森正光庁長が献幣使として参向され、花房会長が祭典典儀を奉仕致しました。当日は護国神社参集殿の一角をお借りし、「戦歿学徒顕彰パネル展」を開催。これは前日十月二十一日が明治神宮外苑陸上競技場で出陣学徒壮行会(昭和十八年)が開催されたことに因むもので、ペンを置き学業半ばで戦地へ赴き戦陣に散った九名の学徒英霊の遺影、遺書、遺品等のパネル展示を通じて、当時の若人達の祖国を想う心を学び慰霊と顕彰の真姿について考えていただけるよう神道青年近畿地区連絡協議会が企画製作したものであり、当日は多くの方にご覧頂きました。

(大神 高山)



神道青年全国協議会

夏期セミナー

去る平成二十七年八月二十六日、二十七日の両日に亘り、神社本庁・靖國神社に於いて神道青年全国協議会夏期セミナーが開催されました。

先ず以て、終戦七十年の節目の年に、靖國神社に昇殿参拝し、英霊に感謝の誠の手を合わす時間を得た事に感謝致します。

「今、伝えるべき日本人の心」戦後七十年に想ふ道義国家への布石」を主題に、終戦七十年にあたり慰霊・顕彰の念を新たにするとともに、道義国家再興に向けて、道徳と道徳教育について学び、先人から守り伝えられし日本人の心を再認識することを目的とし、各々研鑽致しました。

戦後の占領軍による弱体化政策により誇るべき道徳教育が解体され、倫理道徳観の乱れにより、目を背けたくなるような事件が多発している。この現状を、命を懸けて日本の為に散華されし英霊は、どのように見ておられるのか。現代の日本は、明治維新の頃と酷似しているのかもしれない。日本人には、世界から称賛される美質が備わっているのに、当の日本人がその事に気付かず、外国の物まねばかりし、良さを消してしまっているように思う。

明治時代に「教育勅語」が求められたように、今の日本には道徳教育の再生が必要となる。この研修を通し、青年神職として、道義国家日本の再興の一助を担えるよう、良き伝統・

文化を学び、日々の神明奉仕に一層努めていかなければならないと再認識しました。
(檀原 西田)

神話紙芝居団

「かたりべまほろば」

活動報告



本年度の活動報告を致します。

まず本年度公演として、檀原神宮林間学園後の子ども会についての公演と、春日大社所属ガールスカウト・ボーイスカウトの夏の実習での公演を行った。これらの公演は毎年の恒例となっており、子ども達を対象に行われている。皆熱心に話を聞き、喜んでくれるようだ。今日ではあまり語られる機会が少なくなった神話を子ども達にも触れてもらい興味を持ってもらう機会であるので大切にしていきたい。

八月十一日には、近鉄百貨店檀原店において、「夏休み子ども博覧会」というイベントがあり、その中で紙芝居の公演があった。公演は午後から二度行い、老若男女問わず多くの方々にご覧頂けた。神社会以外の依

頼で、本年度三回目の公演となった。ご好評をいただいております、先方の担当者よりまた来年度もお願いしたいとのことでしたので、今年度も長く続けられるよう励んでいきたい。

八月十六日には、奈良県護国神社にて「東市高円の杜夏まつり」の参加者に対して公演を行った。本年は終戦七十年という節目の年として護国神社で紙芝居の公演をさせて頂いたのである。夏まつりということで、子ども達がよく集まっており、できるだけ理解してもらえるように意識した結果、最後まで興味を持って見てもらえた。予想していたよりたくさんの方々に見て頂いてこちらとしてもうれしく思うところである。

また団内の活動として、公演の質をよりよくなるようにしていきたい。練習機会を増やしこなしていくのはもちろんのことではあるが、団員同士のコミュニケーションも大切であるので、団全体で懇親を深めていきたい。その上で、今後公演する機会を増やしていきたいようになるような体制になればと思うところである。

できるだけ多くの方に紙芝居で神話にふれもらえるよう励んでいく所存ですので、皆様方にはご理解頂き、何卒協力の程よろしくお願い致します。

最後になりましたが、今回の多くの公演においてお世話頂いた、関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。
(往馬 大森)

神青協 出向報告

相談役 持田照久

今期(平成二十七・二十八年度)は、神道青年全国協議会監事(渉外委員会・事業委員会担当)を仰せつかり出向させて頂きました。

今年の奈良神青定例総会の折、井上先輩から「神青協監事という役職は非常に重い役だからしっかりと務めを果たすように」と激励を戴き、近畿地区の皆さんには南坊城前神青協会長の慰労会に併せて私の激励会も催して戴き、前期とは又違う緊張感と責任を持って出向させて頂いております。

今年 は定例総会に併せて全国会長会が開催され、大東亜戦争終結七十年にあたり十年前と同様に靖國神社全国護國神社玉串料伝達式が行われました。又、六月には神青協初となる海外慰霊事業を実施、八月には長年の念願であった硫黄島訪島事業も実施されました。

周年の翌年にも拘わらず、長友会長始め神青協役員の篤い思いで非常に大きな事業が多く展開されました。現時点で既に来年の主題も検討し、各種事業を協議しているところです。

事業の詳細は神青協ホームページやフェイスブック、神青協通信でも掲載されておりますので是非御覧ください。

神青協監事という立場で予定者会議から約一年に渡り携わってきましたが、やはり目には見えない重圧と責任を痛



切に感じております。

今後も重圧に押し潰されぬように、しっかりと責務を果たしていきたいと思っております。

会員各位にはこれまで以上に、単体会活動を始め近畿地区や神青協活動への積極的な参加を期待しております。



神道青年会全国協議会大東亜戦争終結七十年記念事業パラオ共和国戦没者慰霊祭



平成 27 年度夏期セミナー

第 67 回定例総会



平成 27 年度夏期セミナー 靖國神社正式参拝



全国会長会 明治神宮正式参拝

6/22

第一回勉強会 第六十次春日大社式年造替特別拝観

第一回勉強会が、去る平成二十七年六月二十二日、奈良市に鎮座する春日大社で開催された。現在、春日大社では、式年造替が実施されていることもあり、意義深く研修開催の運びとなった。

〈社頭説明〉

当日は、春日大社の一木権禰宜より、鄭重なご説明をいただいた。

春日大社では、一年を通して延べ二二〇〇回以上ものお祭りが奉仕されている。その中でも至高最重儀の祭典が、二十年に一度行われている「式年造替」である。式年とは「定まった一定の年限」、造替とは「社殿を造り替える」という意味である。御創建以来二二〇〇年という永きに亘り連綿と繰り返されてきた式年造替は今回で六十回をむかえるとのこと。

造替に伴い、御祭神は現在、移殿うつしやと呼ばれる「御仮殿」に祀られており、御造替みぞかへ先達まで古式に則り、日々奉仕されている。

〈正式参拝〉

神様をより身近に感じられる移殿で正式参拝を行った。御神坐の外には、六面神鏡と呼ばれる普段見ることのない貴重な神鏡が下り下げられており、御神体に続く大切な存在とされ、厳重に守られている。

〈二四〇年の時を経て後殿の公開〉

此度の式年を記念して、明治維新以来、初めて御本殿の後方に位置する、後殿うしろのが特別に公開され、私達も御案内いただいた。

すると第一殿と第二殿の間には、白い漆喰で



塗り籠められた磐座があり、このことは春日大社の古文書にも記されていない、正に「神祕の磐座」である。

〈継承の意味を知る〉

春日大社の境内には、樹齢一〇〇〇年の大杉がある。その根本から斜めに伸びたイブキが直会殿の屋根に穴をあけて伸びている事に気づく。まるで木を生かすように配慮されているようだ。また、廻廊では勾配があちこちで見られる。説明によると、御蓋山の神聖性をとどめる為、極力山を削らずに社殿を建てられた経緯があるとのこと。自然を守り共存する心が伝わってくる。この話を聞いて、私は、如何に神々を祀るといふ行為を重く受け止め、今日まで実践されてきたのか、此度の式年造替と重なり、その責任の重さと継承していく意味を改めて教えられた気がする。

お蔭をもちまして私達青年神職にとって、心に残る研修となりました。

(檀原 上野)

8/3

田野瀬太道 衆議院議員との交流会

去る八月三日午後六時三十分より花房会長、高山・神田両副会長、持田相談役、栗野監事、多田事務局長、高井・井口・樋口各理事が出席し、がんこ檀原店にて「少子化にともない鎮守の杜が果たす役割り」を骨子として交流会が行われました。

この交流会は神青協へ出向された持田相談役が二年前に自民党若手議員との懇親会時に同じ奈良県出身ということもあり地元の青年神職と交流しお互いに意見を交換しようという約束から時を経て実現しました。初めての試みでもあることから自己紹介をし、和やかな雰囲気の中、国政や県下の状況等を踏まえ、それぞれの立場で将来に向けて意見を交わす良い機会となりました。今後もこの交流会が継続されることを期待しています。

(廣瀬 樋口)



8/10

親睦家族会

去る八月十日、親睦家族会が開催され河合町の大和川河川敷でバーベキューを楽しみました。今回の開催は約十年振りということもあり、大人四十四名、子供十三名の計五十七名と多くの方に参加頂きました。

前々日、前日と不安定な天候が続いており、当日も少し小雨が降りましたがすぐに止み、楽しい一時を過ごすことができました。大和川から涼風の吹く中、親睦家族会は花房会長の挨拶、持田相談役の乾杯で始まりまし



お肉ばかり食べている人、野菜とお肉とバランスよく食べている人、食べるよりも飲む方を優先している人と三者三様でしたが、皆々が炭火を囲み思い思いに談笑し、日頃の社務の疲れを忘れ親睦を深めていました。また、奥様方同士でも交流を深めていたようで、いたるところで会話の弾んだ声が聞こえていました。

さらに、バーベキューだけでなくスイカ割りや花火も行われ、私達会員だけでなく奥様方や子供達といったご家族の皆さんも一緒になって充実した時間を過ごして頂けたと思います。

(石上 刀彌)

8/19
20

禊魂錬成研修会



去る、八月十九日(水)二十日(木)の両日、天理市に鎮座する石上神宮において奈良県神道青年会主催「禊魂錬成研修会」が開催され近畿二府四県より二十六名の青年神職が集い充実した研修期間を過ごしました。

残暑尚厳しい中での研修でありましたが、石上神宮榎宜 森好央先生(神社本庁錬成行事助彦)より同神宮に古くから伝わる鎮魂行法をご指導頂き、また実際に同神宮拜殿にて鎮魂行法をさせていただいたことはとても貴重な体験であり、森厳なる境内での時間はとてもゆつくりと流れていくように感じられました。

同じく夕朝に行われた禊行法は、布留山の清水を汲み入れた禊場にて行われました。境内には受講生全員の鳥船行事の息の合った声が響き渡り、澄み切った水に浸かっての大祓詞奏上は大変清々しく、こちらもまた日頃の神社奉仕とはまた趣が異なったものであり有意義な時を過ごせました。また初日の夕刻には当会恒例の勉強会が併設され

ており本年は終戦七十年の節目の年ということもあり、当会OBで檀原神宮権禰宜であり元陸上自衛官というご経歴の金澤明信先生をお迎えして講話を拝聴しました。

自衛隊訓練時代に於いて、自衛による緊張感、空腹感等で極限状態に置かれた体験を下に「身近にある幸せについて」講話され、一同「感謝」の精神を再認識する勉強会となりました。

毎年この研修は一泊二日と限られた時間ではありますが、各神社に奉務される方と同じ目標に向かい寝食をともにするまたとない機会でもありません。次年度も開催を致しますので多くの青年神職の皆様のご参加をお待ちしております。

(春日 保尊)



9/2

奈良県神社庁長杯親睦スポーツ大会

九月二日、檀原公苑第一体育館にて奈良県神社庁長杯親睦スポーツ大会が開催されました。

私は檀原神宮に奉職させて戴いてから紙芝居の活動には加わって参りましたが、スポーツ大会への参加は初めてでした。

今回の種目はバドミントンでした。春日、大神A・大神B、諸社混成、檀原の五チームに分かれ、総当たり制で行われた試合は、私が想像していた以上に大変盛り上がりました。

運動の不得意な私もとて楽しくプレーできま

した。しかも、檀原チームは強力な新人巫女の活躍もあって優勝(大神A)とはいきませんでした。が、二位という結果を収めることができました。その後の懇親会では、他の神社の方々とお酒を酌み交わしつつ種々様々な話をして、より交流を深められたと思います。

(檀原 西岡)



9/24

皇室関連施設清掃奉仕

去る平成二十七年九月二十四日(木)修学院離宮に於いて皇室関連施設清掃奉仕が行われ三十余名の会員が参集致しました。当日は残念ながら雨天の影響のため中止となりました。本来であれば、清掃奉仕以外で中に立ち入ることは難しいことを伝えられましたが、宮内庁職員の方の特別な計らいにより、離宮内をご案内して戴けることになり、大変有難く、有意義なものとなりました。紅葉が深まると更に美しくなるということも伺い、機会があれば個人的にも見学してみたいと思いましたが、その後、一度解散し京都市内を散策した後、ホテル平安の森京都にて懇親会が開催されました。参加者一同和気藹々とした雰囲気の中、大いに親睦を深めることができました。

この事業を準備してくださった、宮内庁職員の方、京都府神道青年会の皆様に心から御礼申し上げます。

(大神 新海)



11/9

南都聖和会との
合同研修・懇親会



毎年恒例の南都聖和会との合同研修・懇親会は奈良市内で行われる事が多いところ今年もは橿原市内で開催され、橿原神宮の格別の御配慮で改修中の御本殿を拝観させて頂いた。御本殿の向きの謎、幣殿のいわれや祭祀形態の特徴など詳しく解説して頂き、



外からは何うことか出来ない広大な御垣内をじっくり案内して頂いた。南都六太寺の僧侶の方々には国家の宗廟に篤く御拝礼頂いたこともこの上なく有難いことであった。
引続き橿原観光ホテルに会場を移して懇親会が行われた。日常生活のこと、日々の御奉仕の様子や目下抱えている課題など忌憚なく意見交換が行われ、時の経つのもはやく盛會裡に中締めとなった。私も単刀直入に質問してみた。「死後どうなるのですか」。多くの日本人は極楽往生を信じ成仏のため

11/26

平成二十七年 奈良県
神社庁長杯親睦ゴルフ大会

に多額の戒名料を納めている。次のような答えが返ってきた。「完全に消滅し涅槃してはいけないのです。生まれ変わり死に変わりこの世にあって衆生を救済するのが私たちの願いです」。仏道のためには自ら地獄に墜ちることさえ厭わないのではないか。その強靱な宗教心にただただ目の覚まされる思いがした。
(大神 室井)

十一月二十六日、毎年恒例の奈良県神社庁長杯親睦ゴルフ大会が奈良OGMゴルフクラブ(奈良市)で開催され、県内各地より十三名が参加した。まず開会式が行われ、中熊先輩(橿原神宮)より挨拶をいただき、事務局より大会の案内、ルールの説明などが行われ葛城先輩の始球式で幕をあげた。

当日は雨も降り非常にコンディションが良くない中ではあったが随所に熱いプレーを各々みせていた。実力を発揮できた者、そうでなかった者もいたが皆プレーを楽しんでいた。

続いて表彰式、懇親会が行われ、優勝は神谷先輩(ネット76.2 グロス111)、二位中熊先輩(ネット77.0 グロス89)、三位吉村先輩(ネット77.2 グロス88)となりOBの方々上位を独占した。団体優勝は大神神社チームの連覇となった。

あいにくの天候の中ではあったが、普段なかなか接することのない諸先輩方、また他社の会員とゴルフを通じて交流を深めることができた有意義な大会となった。来年は現役会員、また橿原、諸社チームの奮起を期待したい。

(薬園八幡 平田)

神宮・京都・奈良 三神青親睦野球大会

平成二十七年五月十八日 恒例の神宮・京都・奈良三神青親睦野球大会が京都府、岡崎公園軟式野球場にて開催されました。当会からは、高山副会長以下十一名の参加がありました。

初戦の京都戦、先発は近畿一の剛腕鈴木会員(大神)。持ち前の球威で京都打線をねじ伏せにいくが、制球が定まらず被安打二ながら、三失点で完投。打線もつながりを欠き、走者は出すものの二得点止まりで、二対三で敗戦。まともに打たれていないだけに、悔やまれる敗戦となった。

二戦目の神宮対京都は二対一で神宮が勝利。三戦目は神宮戦、先発は今年から加入の三重県大野球球新人戦最優秀投手宮崎会員(大神)。

前評判通りの制球力を発揮し、強打の神宮打線を無四球、被安打三、一失点で完投。打つても三回に本塁打で二打点。五回には橋本会員(大神)林(荒神社)の連打で一点取り三対一で勝利。投手を中心に守り勝つ。これから奈良の目指す野球が見えた試合であったように思います。試合後、ホテル平安の森にて和やかな雰囲気の中、懇親会が行われました。

現在神道青年会野球部は、経験者、未経験者合め約一五名で活動を行っております。未経験者の方も日頃の運動不足解消にもなりますので、ぜひご参加ください。

参加者

- 大神神社・・・高山・鈴木・橋本・宮崎
- 檀原神宮・・・多田・高銚・上野
- 諸社・・・神田・平田・林・刀禰

(荒神 林)

近畿地区連絡協議会親睦野球大会 (親睦ボウリング大会)

去る六月十一日に雨天のため近畿地区連絡協議会親睦野球大会改め、親睦ボウリング大会が和歌山県和歌山市のラウンドワンにおいて開催された。各チーム恒例の野球大会を楽しみにしていただけに、ボウリングへの変更の決定は非常に残念ではあったが、いざ始まってみれば一〇〇名以上の会員の熱戦が繰り広げられた。

まず会のはじまりにあたり、近畿地区の新会長である長谷川会長のご挨拶、またご臨席を賜った小竹参与のご祝辞をいただき、長谷川新会長の始球式にて幕をあげた。各チーム野球で培った球技センスで次々とピンを倒しスベアとストライクの山を築いた。我が奈良県神道青年会は花房会長のもとに類似希なるチームワークを発揮し、今年新入会員の宮崎選手の二〇〇点という好スコアや女性陣の活躍もあり二位の大阪府神道青年会とは非常に接戦ながら見事優勝を成し遂げた。



大会後は紀三井寺ガーデンホテルはやしにて懇親会が開かれ、他府県の青年会の方々との交流を深める良い機会となった。また懇親会では表彰式と単位会ごとの優秀選手が発表され大いに盛り上がり

った。来年も、優勝旗を手渡された花房会長の「野球でも、もちろん優勝していた」との強気の発言通り野球で優勝旗を勝ち取りたいと思う。

最後になりましたが、この会の開催にあたりご尽力いただいた和歌山県神道青年会の皆様ありがとうございました。また奈良県神道青年会の方々も本当にお疲れ様でした。(大神 橋本)

順位

- 優勝 奈良県神道青年会
- 準優勝 大阪府神道青年会
- 三位 兵庫県神道青年会
- 四位 滋賀県神道青年会
- 五位 京都府神道青年会
- 六位 和歌山県神道青年会

京都・大阪・兵庫との野球練習試合



9月18日に大阪神青と野球の練習試合を橿原市運動公園野球場で行いました。結果は14対0で奈良神青の勝利でした。



10月29日に京都神青と野球の練習試合を橿原市運動公園野球場で行いました。結果は4対5で京都神青の勝利でした。

(檀原 高銚)



7月13日に兵庫神青と野球の練習試合を兵庫県西宮市の甲子園浜球場で行いました。結果は4対8で兵庫神青の勝利でした。

奈良×兵庫	4-8
奈良×大阪	14-0
奈良×京都	4-5

奈良県神道青年会 活動報告及び計画 (平成二十七年四月一日〜平成二十八年三月三十一日)

月	日	内 容	場 所	
4月	6日	第二十四回理事役員会(新旧合同)	春日大社	
	同日	会計監査	春日大社	
	15日	奈良県護国神社春季大祭助勤奉仕	奈良県護国神社	
	16日	神道青年近畿地区連絡協議会臨時役員会	阿倍王子神社	
	20日	神道青年近畿地区連絡協議会第一回事業委員会	敦煌	
	23日	神道青年全国協議会第六十七回定例総会	神社本庁	
	27日	平成二十七年年度定例総会	奈良県神社庁	
	同日	同懇親会	橿原ロイヤルホテル	
	5月	7日	神道青年近畿地区連絡協議会第五回役員会	ホテルグランヴィア和歌山
		13日	第一回理事役員会	大神神社
17日		神宮京都奈良三神青野球大会	岡崎運動公園軟式野球場	
22日		神道青年近畿地区連絡協議会第二回事業委員会	和酒吟蔵	
6月		10日	神道青年近畿地区連絡協議会第六回役員会	ホテルグランヴィア和歌山
	11日	神道青年近畿地区連絡協議会平成二十七年年度定例総会	ホテルグランヴィア和歌山	
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会ボウリング大会	ラウンドワンスタジアム和歌山	
	17日	神道青年近畿地区連絡協議会第三回事業委員会	大阪府神社庁	
	18日	公式ホームページ開設		
7月	22日	第一回勉強会「春日大社式年造替特別拝観」	春日大社	
	同日	第二回理事役員会	春日大社	
	24-28日	神青協 大東亜戦争終結七〇年記念事業パラオ共和国戦没者慰霊祭	パラオ共和国	
	4日	神話紙芝居団「かたりべまほろば」第五十五回公演	春日大社	
	6日	第三回理事役員会	橿原神宮	
	13日	兵庫県神道青年会と奈良神道青年会の野球親善試合	甲子園浜野球場	
	24日	神道青年近畿地区連絡協議会第四回事業委員会	大阪府神社庁	
	8月	3日	田野瀬太道業院議員と奈良県神道青年会の交流会	がんこ榎原店
		5日	神道青年近畿地区連絡協議会第一回役員会	リーガロイヤルホテル京都
		同日	神道青年近畿地区連絡協議会顧問・参与会	リーガロイヤルホテル京都
同日		神話紙芝居団「かたりべまほろば」第五十六回公演	橿原神宮	
7日		第四回理事役員会	大神神社	
10日		親睦家族会	河合町 大和川河川敷	
11日		神話紙芝居団「かたりべまほろば」第五十七回公演	近鉄百貨店 橿原店	
15日		終戦七十周年英霊顕彰冊子「大和の国より英霊の声を」発刊		
同日		奈良県出身戦没者追悼式助勤奉仕・参列	奈良県護国神社	
同日		終戦七十周年英霊顕彰冊子「大和の国より英霊の声を」・団扇配布活動	近鉄奈良駅前広場	
9月	16日	終戦七十周年英霊顕彰冊子「大和の国より英霊の声を」配布活動	近鉄奈良駅前広場	
	同日	神話紙芝居団「かたりべまほろば」第五十八回公演	奈良県護国神社	
	同日	記念誌発行		
	19-20日	禊・鎮魂鎮成研修会	石上神宮	
	19日	第二回勉強会 金澤明信先生講演「今ここに」	石上神宮	
	24日	南坊城光興君神青協会長退任を労う会並びに持田照久君神青協監事就任を励ます会	割烹 湖月	
	26-27日	平成二十七年神道青年全国協議会夏期セミナー	神社本庁・靖國神社	
	27日	奈良県神社庁例祭参列	奈良県神社庁	
	28日	神道青年近畿地区連絡協議会第五回事業委員会	敦煌	
	10月	4日	第五回理事役員会	春日大社
7日		神道青年近畿地区連絡協議会第二回役員会	京都ロイヤルホテル	
同日		神道青年近畿地区連絡協議会第一回連絡会	京都ロイヤルホテル	
8日		神社庁長杯親睦スポーツ大会	奈良県立橿原公園第一体育館	
15日		大阪府神道青年会と奈良県神道青年会の野球親善試合	橿原市運動公園軟式野球場	
24日		皇室関連施設清掃奉仕	修学院離宮	
28日		皇居勤労奉仕青垣奉仕団第一回推進委員会	なごみ白木屋 桜井南口駅前店	
7日		神宮大麻願布始祭参列	奈良県神社庁	
同日		神宮大麻願布推進委員会出席	橿原神宮会館	
16日		第六回理事役員会	橿原神宮	
11月	20日	「戦没学徒道遺影パネル」展示準備	奈良県護国神社	
	21日	第二十一回全国戦没学徒道遺影祭奉仕・参列	若人の広場公園	
	22日	奈良県護国神社秋季大祭助勤奉仕	奈良県護国神社	
	同日	「戦没学徒道遺影パネル」展示	奈良県護国神社	
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会第六回事業委員会	敦煌	
	26日	奈良県神社関係者大会助勢	橿原神宮義正殿・神宮会館	
	29日	京都府神道青年会と奈良県神道青年会の野球親善試合	橿原市運動公園軟式野球場	
	12月	9日	南都聖和会との親睦交流会	橿原神宮
		13日	第七回理事役員会	大神神社
		19日	皇居勤労奉仕青垣奉仕団第二回推進委員会	くいもの屋 わん 大和八木店
26日		奈良県神社庁長杯親睦ゴルフ大会	OGMゴルフクラブ	
30日		第三十一回近畿神社庁連合総会並びに大東亜戦争終結七十周年英霊顕彰事業「近畿地区講演会」	ホテルニューオータニ大阪	
2日		神道青年近畿地区連絡協議会第三回役員会	賀茂御祖神社	
同日		神道青年近畿地区連絡協議会第二回連絡会	賀茂御祖神社・KKR京都くに荘	
5日		神道青年近畿地区連絡協議会第七回事業委員会	酒場 岡村	
7日		第八回理事役員会	春日大社大宿所	
同日		理事役員忘年会	一条 東向通店	
平成28年	1月	皇居勤労奉仕青垣奉仕団第三回推進委員会		
	1日	会報「青垣」第五十二号刊行		
		神道青年近畿地区連絡協議会第八回事業委員会		
	19日	第九回理事役員会	大神神社	
	同日	新春互礼会・創立五十周年事業慰労会		
	27日	国旗掲揚推進一・二七御堂筋パレード	大阪市	
	2月		皇居勤労奉仕青垣奉仕団第三回推進委員会	
			神道青年近畿地区連絡協議会第九回事業委員会	
		23日	第三回勉強会 五條市御霊神社参拝・藤岡家住宅見学	御霊神社
		同日	第十回理事役員会	御霊神社
26日		神宮大麻願布終了祭参列	奈良県神社庁	
同日		神宮大麻願布推進委員会出席	奈良県神社庁	
3月		8日	神道青年近畿地区連絡協議会第四回役員会	京都府
		同日	神道青年近畿地区連絡協議会第三回連絡会	京都府
		9日	神道青年近畿地区連絡協議会研修会	奈良県
		同日	姉妹神青交流事業	奈良県
	16-17日	神青協神宮研修会	神宮会館	
3月	17日	奈良県神社庁神職・氏子合同研修会助勢	橿原神宮義正殿	
		第十一回理事役員会	橿原神宮	
	29日	神道青年近畿地区連絡協議会第十回事業委員会		
		神道青年近畿地区連絡協議会視察ゴルフコンペ	大阪府	

奈良県神道青年会 第11回皇居勤勞奉仕『青垣奉仕団』 団員募集

この度、奈良県神道青年会では、第十一回皇居勤勞奉仕「青垣奉仕団」を結成致しました。

皇居勤勞奉仕は、昭和二十年五月の空襲で焼失した宮殿跡の整備を、時の有志が勤勞奉仕を申し出たのが始まりで、その後各地の団体からも同様の申し出があり、現在では皇居及び赤坂御用地において、ほぼ毎日ボランティアグループや地域の団体、職場の仲間同士等が、除草、清掃、庭園作業などの奉仕を行っています。

四日間にわたる皇居・赤坂御用地の清掃を通し、日常では味わう事の出来ない清々しい気持ちを感じ、天皇皇后両陛下より御会釈を賜りました折には、青垣奉仕団一同声高らかに「聖寿万歳」を申し上げ、御皇室国家のご安泰と世界の平和を祈念致したく存じます。

ぜひこの機会に、お一人でも多くの皆様に皇居勤勞奉仕へご参加頂きますようご案内申し上げます。

(春日 白沢)

◎実施予定日 平成28年9月5日(月)～9日(金)を第一候補日として申請を致します。

【奉仕は6日(火)～9日(金)の4日間】

(上記日程にて奉仕団体申込多数の場合は宮内庁にて抽選が行われる為、日程が変更になる場合がありますので、ご理解の上お申し込み下さい)

- ◎参加費 95,000円(予定)《交通費・食費・宿泊費等》
- ◎募集人数 30名
- ◎参加資格 年齢15歳以上75歳以下で、奉仕期間中健康に責任の持てる方
- ◎申込締切 平成28年1月末日(尚、定員集まり次第締め切らせて戴きます)
- ◎お申込み(お問い合わせ) 参加ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

- 等彌神社 〒633-0091 桜井市桜井1176 担当: 尾田交之 おだのちよき
電話0744-42-3377 (FAX兼)
- 大神神社 〒633-8538 桜井市三輪1422 担当: 野上裕司 のがみゆうじ
電話0744-42-6633 FAX0744-42-0381
- 橿原神宮 〒634-8550 橿原市久米町934 担当: 坂口智紀 さかぐちともき
電話0744-22-3271 FAX0744-24-7720

平成27年度入会

新入会員紹介

- ①生年月日 ②座右の銘 ③趣味 ④休日の過ごし方 ⑤ひとこと



やまぐち きょうへい
山口 響平

- ①平成五年一月二日
- ②世界に不要のもの無し
- ③音楽鑑賞
- ④買い物、散歩
- ⑤青年会の活動で、お役にたてるように頑張ります。
- ⑥よろしくお願ひいたします。



みやざき ともなり
宮崎 智成

- ①平成四年十月一日
- ②不撓不屈です!
- ③野球、ゴルフです!
- ④買ひ物が多いです!
- ⑤慣れないこともあり、ご迷惑をおかけすることもあると思ひますが精一杯頑張ります。



うえたに よしふさ
上谷 義房

- ①昭和五四年七月二七日
- ②日々精進
- ③ドライブ
- ④娘と遊んでいます
- ⑤これから宜しくお願い致します。
- (京都府松尾大社より転任)



はやし てつや
林 哲也

- ①昭和六二年九月二八日
- ②一球入魂
- ③釣り
- ④釣り
- ⑤いい釣り場を教えてください。(大阪府道明寺天満宮より転任)



もりやま よしひろ
森山 芳寛

- ①平成四年七月四日
- ②整理は能率を高める
- ③写真
- ④ドライブ
- ⑤宜しくお願ひ致します。



ほそんき だいすけ
保尊 大輔

- ①平成五年二月二四日
- ②一期一会
- ③ダンス
- ④スポーツ/銭湯
- ⑤宜しくお願ひ致します。

編集後記

先ずは会報「青垣」五十二号発行に際しご寄稿、ご協力頂きました皆様にご心より厚く御礼申し上げます。さて、本年度は大東亜戦争終結七十年を迎えました。戦没者の尊い犠牲の上、平和な今日を過ごせる事に、ただただ感謝の気持ちで一杯になります。「自己犠牲」と言え、今昔物語に「月の兎」と云う物語があります。

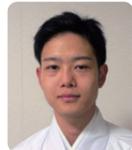
ある日、倒れていた老人を助けようと、狼・狐・兎が相談します。狼は木の実を、狐は米や魚を取って来ますが、兎は何も取れず思いつめた結果、火を炊いてほしいと頼み「私を食べてください」と言い残し、自ら火中に身を投げた。その行動を見た老人は、「(実は)帝釈天であり、「自己犠牲」に殉じた兎の姿を人々に見せる為、月に移したので、月には兎がいると云う。私もこの兎同様、世の為、人の為に励む所存でございます。今後とも、ご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

(広報部 高井)



たかね しゃ
高鳴 社

- ①昭和五八年九月二七日
- ②なせば成る なさねば成らぬ 何事も 成らぬは人のなさぬ なりけり
- ③映画鑑賞
- ④家族と過ごしています
- ⑤神職としての経験はまだ少なく、これから学ばねば成らぬのが、奈良県神道青年会の一員として恥ずかしいよう神明奉仕に努めて参りますので宜しくお願い申し上げます。



そのけ いうへい
園池 庸平

- ①平成五年二月三日
- ②日々是好日
- ③野球観戦、読書
- ④シヨッピンク、料理
- ⑤知識・経験供に未熟ではありませんが、日々進歩、改善を心掛け、神明奉仕に励んで参ります。